

※以下の内容を記入し、**実験走行日から5日以内**に、メールにて事務局( challenge@rt-tsukuba.jp )までお送り下さい。  
この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

## つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 第6回実験走行会 2014/11/3(月)

ロボット No.: 1415-02

ロボット名: Cranberry 2014

チーム名: 千葉大学知能機械システム研究室

記載責任者: 大川一也

### 1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

探索対象の検出と接近

### 2 実験の具体的内容と成果

#### 2.1 実験の具体的内容

完走しつつ、できるだけ多くの探索対象の検出

コースの再検討+地図の再生構築

#### 2.2 実験成果

ジャイロの初期化に失敗し、正しい向きの算出が不能

→ 初期化が正常か否かの確認するプログラムの追加

### 3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

#### 3.1 自律走行の内容

完走しつつ、できるだけ多くの探索対象の検出

#### 3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

探索成功率は低い、完走

残された課題

探索対象の見落としが多い

#### 3.3 失敗した理由

探索範囲の調整不足

#### 3.4 確認走行を行った場合は、その記録

なし

#### 3.5 記録走行を行った場合は、その記録

なし

### 4.運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。

いつもお世話になっております。皆さんのお陰で、円滑に実験走行ができております。